

## 宮崎県歯科医療機関患者調査結果概要

- 1 対象施設 県内の歯科医療機関（486施設）
- 2 調査対象 歯科医療機関に来院した県内居住の20歳から65歳までの患者
- 3 調査項目 患者の性別、年齢、居住市町村、歯周ポケットの深さ（最大値）
- 4 調査時期 令和5年1月17日（火）又は1月18日（水）のいずれかの日
- 5 調査結果

○回収状況 回収率 **59.9%**（291施設／486施設）

○調査人数 1,101人（1 歯科医療機関あたり3.8人）

○歯周炎を有する者※の割合

20代ですでに約半数が歯周炎を有しており、40代以降は70～80%と高かった。

表 歯周炎を有する者※の状況

年齢	人数	歯周炎を有する者※の割合 (%)	
		歯周炎を有する者※	歯周炎を有する者※の割合
20-24	32	16	50.0
25-29	39	19	48.7
30-34	54	30	55.6
35-39	85	50	58.8
40-44	107	89	83.2
45-49	134	102	76.1
50-54	156	115	73.7
55-59	131	93	71.0
60-64	157	120	76.4
合計	895	634	70.8

(%)

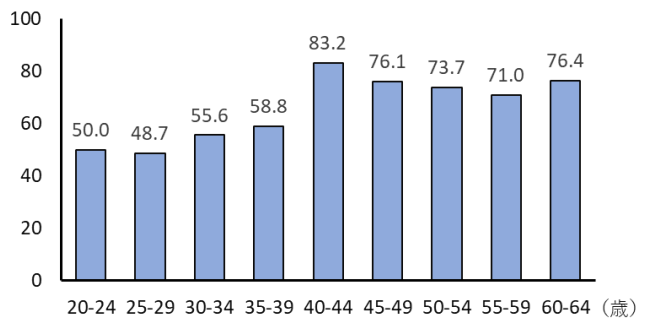


図 歯周炎を有する者の割合

(参考)

○県民健康・栄養調査（H28年度）

25～34歳 44.4%

35～44歳 43.3%

45～54歳 57.5%

※ 無作為に抽出した地区の住民対象

※歯周炎を有する者：4mm以上の歯周ポケットを持つ者

## 5 参考

○歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（成人期・高齢期）

- ・40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少  
中間評価 44.7%（平成28年） 目標値 25%（令和4年度）
- ・60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少  
中間評価 62.0%（平成28年） 目標値 45%（令和4年度）